

ラグビーワールドカップ 2019™及び東京 2020 オリンピック・パラリンピック
に向けた取り組み状況について

1 大会運営に関する取組状況

両大会の成功に向け、関係団体、機関から構成された横浜開催推進委員会を組織し、メンバーの皆様と情報共有を進めました。

また、庁内で組織した横浜市推進本部の取組として、両大会の運営について、区局横断的に検討が必要な事項を検討するため、テーマごとに庁内プロジェクトを設置し取組を進めています。

(1) 官民連携の取組

ア 横浜開催推進委員会における取組

目的	<u>両大会の成功に向けてオール横浜で一丸となって推進するため、市会、経済界、スポーツ関係団体など、様々な分野の関係団体等の皆様と行政で構成する組織として、平成 28 年 11 月に設立しました。</u>
取組概要	<u>実務的な情報共有や連携を図るために、両大会それぞれについて「専門委員会」を設置、開催しました。また、専門委員の皆様へ、適宜、eメールを用いた迅速な情報共有を行っています。</u>

(2) 横浜市推進本部（庁内組織）の取組

ア 危機管理に関する対応<危機管理プロジェクト>

目的	<u>ラグビーワールドカップ 2019™及び東京 2020 大会において、テロ・犯罪や感染症等の想定される危機事案に対する事前対策や、これらの危機事案が発生した場合に被害を最小限にとどめるための警戒体制や対応の検討を行います。</u>
取組概要	<u>想定される危機やそれらの事前対策、発生時の対応などを定めた危機管理基本計画の策定に向けて、関係区局で検討を行っています。</u>

イ 交通輸送に関する対応<交通輸送プロジェクト（3月末設置予定）>

目的	<u>両大会の円滑な輸送の実現に向けて、開催都市の役割である、一般観客の交通輸送業務の実施に向けた計画を検討します。</u>
取組概要	<u>ラグビー日本代表戦等の機会を捉え、観客の来場方法、歩行者ルート等について調査を実施し、一般観客輸送の方向性の検討を行っています。東京 2020 大会については、組織委員会を中心とした東京圏における交通輸送に関する検討状況の共有を行っています。</u>

ウ 多言語に関する対応<多言語対応プロジェクト>

<p>目的</p>	<p>両大会の開催に際し、<u>外国人の受入に不可欠となる多言語対応の強化・推進に向けて、様々な局にわたる多言語対応の取組を横断的に推進</u>します。</p>
<p>取組概要</p>	<p><u>案内サインの多言語の推進や ICT ツール、ピクトグラム</u>の活用<u>の検討・調整</u>や、東京 2020 <u>大会組織委員会</u>と東京都が<u>中心となって設置した多言語対応協議会</u>における取組の共有等を行っています。</p>

エ 通信環境・案内サイン等の対応<通信環境・案内サインプロジェクト>

<p>目的</p>	<p>両大会の開催を契機として、<u>来街者に快適な滞在環境を提供</u>するため、通信環境や回遊性の向上に向けた<u>検討を横断的</u>に行います。</p>
<p>取組概要</p>	<p>具体的な取組として、<u>都心臨海部及び新横浜駅周辺地区の道路及び駅前広場</u>において、<u>民間事業者のノウハウを活用しながら案内サインと無料 Wi-Fi</u>を一体的に整備・運営する事業や、みなとみらい 21 地区の公園・緑地等及び横浜駅きた通路・みなみ通路において、本市により無料 Wi-Fi を整備・運営する事業を進めています。</p>



TM©RWCL2015



開催会場

2 機運醸成に関する取組状況

(1) カウントダウンイベントの実施

【ラグビーワールドカップ関連】

開幕2年前をはじめとして大会に向けた節目に併せたカウントダウンイベントを実施しました。

日にち	イベント名	内容
【開幕2年前】 9月18日	ラグビーワールドカップ2019 大会2年前イベント in YOKOHAMA (マークイズみなとみらい)	①開催都市特別サポーター委嘱式 ②トライフォト (写真イベント) ③トークショー ④ラグビー体験コーナー ⑤ラッピングバス展示
【開幕700日前】 10月20日	カウントダウンボードの設置 (新横浜駅ペDESTリアンデッキ)	カウントダウンボード除幕式
【決勝戦2年前】		
11月2日	試合日程発表会パブリックビューイング (ヨコハマNEWSハーバー)	①パブリックビューイング ②対戦カードの見所等解説
11月3日	トロフィーロードショー (横浜マリンタワー、横浜カントリー・アンド・アスレティック・クラブ、横浜国際総合競技場)	①優勝トロフィー「ウェブ・エリス・カップ」の展示 (写真撮影会) ②横浜マリンタワー特別ライトアップ (日本代表戦を記念した特別ライトアップの実施) ③横浜マリンタワー特別展示 (ラグビーワールドカップ、日本代表戦に関する展示)
11月3～4日	日豪少年少女ラグビー交流フェスティバル (横浜カントリー・アンド・アスレティック・クラブ、日産フィールド小机)	①市内小学生 対 オーストラリアU12 交流試合 ②優勝トロフィーの展示 (写真撮影会)
11月4日	ラグビー日本代表対オーストラリア代表戦を契機とした当日イベント及びシティドレッシング実施 (横浜国際総合競技場周辺) ※ 観客動員数 43,621人 (国内代表戦 歴代最多記録)	①開催都市特別サポーターやドリームサポーターによるトークショー、FMヨコハマ公開生放送等 ②優勝トロフィー、ラッピングバスの展示、ラグビー縁日 ③ストリートラグビーやキックターゲット等ラグビー体験、応援ペイント ④新横浜駅・桜木町駅周辺でのバナー掲出等、シティドレッシング
【開幕600日前】 1月28日	カウントダウンボードの設置 (野毛山動物園)	カウントダウンボード除幕式



(大会2年前イベント)



(11月4日 日本代表戦)



(600日前イベント)

【オリンピック・パラリンピック関連】

オリンピック開会式 1000 日前にあたる 29 年 10 月 28 日（土）から 29 年 11 月 29 日（水）までを、「1000 日前キャンペーン in 横浜」期間として、さまざまなイベントや取組を実施しました。

日にち	イベント名	内容
10月27～28日	横浜マラソンEXP02017でのブース出展	①1000日前記念パネルの展示 ②本市開催競技に関するクイズ
10月28日	東京2020オリンピック開会1000日前スペシャルステージ	ソフトボール日本代表選手等によるトークショー
	横浜市営交通お客様感謝祭 はまりんフェスタ2017でのブース出展	本市開催競技に関するクイズ
	カウントダウンボードの設置	市内18スポーツセンターへのカウントダウンボードの設置
11月4日	ラグビー日本代表戦でのブース出展 (東京2020組織委員会とのコラボブース)	①本市開催競技に関するクイズ ②ターゲットゲーム(野球・ソフトボール啓発用) ③1000日前記念パネルの展示 ④「わたしの参加宣言キャンペーン」(組織委員会)
11月25日	東京2020大会1000日前イベント (横浜スタジアム) ※福島県との連携	①社会人野球チーム、プロ野球OBの野球教室 ②オリンピックのトークショー ③横浜市と福島県代表の少年野球親善試合



(1000 日前イベント・横浜スタジアム)



(1000 日前スペシャルステージ
・ソフトボール日本代表)

(2)その他のイベント等

【ラグビーワールドカップ関連】

- ア 市内小学校へのラグビーワールドカップ出場経験者等の派遣
- イ プール組分け抽選会や日本代表戦、スーパーラグビーのパブリックビューイング
- ウ 開催都市住民チケット先行抽選販売・ボランティア募集を契機とした市庁舎・県庁舎の周辺をはじめとする市内各所でのシティドレッシングの実施
- エ 世界トライアスロンシリーズ横浜大会や消防出初式などイベントでのPRブースの出展



(プール組分け抽選会)



(市庁舎のシティドレッシング)

【オリンピック・パラリンピック関連】

- ア オリンピアン・パラリンピアン等による市内小・中・特別支援学校訪問
- イ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアー
- ウ 世界トライアスロンシリーズ横浜大会やスポーツ・レクリエーションフェスティバルなどイベントでのPRブースの出展



(市内小・中・特別支援学校訪問)



(東京 2020 オリンピック・パラリンピックフラッグツアー)

(3)各区の機運醸成の取組

両大会に向けて市域全体での盛り上げを進めるため、各区で機運醸成の取組を実施しました。

区	取組内容	区分
鶴見区	区民フェスティバルにおけるブース出展、グッズ配布	ラグビー
	鶴見区民マラソンへのオリンピック参加	オリパラ
神奈川区	タグラグビー教室	ラグビー
	イベント配布用東京 2020 大会ピンバッジの作成	オリパラ
西区	三宅義信氏講演会	オリパラ
中区	横浜スポーツレクリエーションフェスティバル（ハマスポレク）	ラグビー
	YC&AC/中区ラグビー教室	ラグビー
	ハロー横浜（中区民まつり）でのラグビー啓発	ラグビー
	小学生ラグビー教室	ラグビー
	スポーツライミング体験会	オリパラ
南区	区民スポーツ参加促進（ラグビー体験会、啓発展示）	ラグビー
	オリンピック・パラリンピアンによる体操教室・講演会	オリパラ
港南区	健康ランニング大会でのラグビーブース設置、グッズ配布	ラグビー
	イベント用東京 2020 大会エンブレム入りユニフォームの作成	オリパラ
保土ヶ谷区	ほどがや区民まつりでのラグビー体験	ラグビー
	ほどがや区民まつりでのブラインドサッカー体験	オリパラ
旭区	あさひくんによるラグビー啓発	ラグビー
	女子ソフトボールOG・現役選手によるトークショー	オリパラ
磯子区	元オリンピックによる走り方講座	オリパラ
金沢区	区民まつり、区体協スポーツフェスティバルでのラグビー体験	ラグビー
	区体協スポーツフェスティバルへのオリンピック招へい	オリパラ
港北区	健康階段と連携した階段広告	ラグビー
	ラグビーワールドカップ 2019 開催機運醸成事業	ラグビー
	パラスポーツ（車いすテニス体験）体験イベント	オリパラ
緑区	ウィルチェアラグビー体験イベント開催	ラグビー
	緑スポーツセンターにおけるイベント開催	オリパラ
青葉区	第4回青葉区民マラソン大会へのオリンピック招へい	オリパラ
都筑区	国際スポーツ大会における通訳ボランティア講座	ラグビー
	区民利用施設と連携したラグビー紹介パネル展	ラグビー
	東京 2020 大会関連国際交流事業（日本×英国）	オリパラ
戸塚区	ラグビーワールドカップを楽しもう（試合観戦）	ラグビー
	イベント配布用東京 2020 大会ピンバッジの作成	オリパラ
栄区	区民まつりでのブース出展	ラグビー
	タグラグビーを楽しもう（タグラグビー教室）	ラグビー
	白井勝晃氏（白井健三選手父）講演会	オリパラ
泉区	泉区から世界を目指せ！かけっこ・タグラグビー教室	ラグビー
	目指せ未来のアスリート！みんな de スポーツチャレンジ	オリパラ
瀬谷区	瀬谷フェスティバルでの機運醸成（ブース出展）	ラグビー
	「海軍広場まんきつフェスタ」におけるサッカー教室	オリパラ

※ 区分の「ラグビー」は、ラグビーワールドカップ 2019™ に向けた取組、「オリパラ」は東京 2020 大会に向けた取組

3 会場整備等に関する取組状況

(1) 横浜国際総合競技場

ラグビーワールドカップ 2019™ に向け、照明設備の更新や芝の整備のほか、トイレの増設・改修等の安全・機能確保のための保全等の会場整備を、東京 2020 大会の開催も見据えて進めています。

- ア 照明設備の更新
競技用照明を LED 照明に更新し照度を向上
- イ ラグビー競技にも適した芝の整備
ハイブリッド芝を開発・育成
- ウ 安全・機能確保のための保全等
エレベーターのバリアフリー化、トイレの増設・改修、スタンド席の改修

(2) 横浜スタジアム

㈱横浜スタジアムによる増築・改修について、平成 29 年 11 月 25 日に起工式が行われ、現在工事が進められています。平成 32 年 2 月に完成予定です。

- ア 座席の増設
1 塁側、3 塁側にスタンド席、バックネット裏に個室観覧席及び屋上テラス席増設。収容人員は約 6000 人増の約 3 万 5 千人
- イ 回遊デッキの新設
公園と一体となった回遊性を実現
- ウ バリアフリー化の推進
エレベーター等の新設



(横浜国際総合競技場の工事の状況)



(横浜スタジアムの工事の状況)

4 その他取組状況

(1) ラグビーワールドカップ 2019™に向けた英国・豪州の調査について

ラグビーワールドカップ 2019™決勝戦の横浜開催の機会をとらえ、ラグビー人気が高いとされるイギリス及びオーストラリア在住の日本への旅行希望者を対象に、調査を実施しました。

調査の結果、ラグビーへの関心は、20代、高所得層の男性で最も関心が高いという結果となりました。

また、高関心層における日本でのラグビーワールドカップ 2019™観戦意向は、イギリスで72.1%、オーストラリアで66.2%となりました。

(2) 誘客活動について

訪日観戦客の横浜滞在と観光を促進するため、英国で開催されたセミナーや商談会に参加し、現地の旅行会社を対象にセールスを実施しました。また、神奈川県と連携し、ラグビーワールドカップ 2019™出場国・地域の旅行会社やメディアの市内視察・取材の受入を行っています。



(英国の旅行会社との商談会)



(英国ラグビー関係メディア受入)

(3) ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2017 について

東京 2020 オリンピック・パラリンピックに関連した横浜ならではの文化プログラムとして、「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2017」を開催し、12万人を超える方に参加・来場頂きました。(開催期間：平成 29 年 5 月 27 日(土)～平成 30 年 1 月 27 日(土))

ヨコハマ・パラトリエンナーレは、文化芸術の力で、あらゆる立場の人がお互いを理解し、尊重できる寛容性のある社会の実現を目指し、障害のある方と多様な分野のプロフェッショナルが協働し、新しい芸術表現を生み出していくアートプロジェクトです。

「ヨコハマ・パラトリエンナーレ 2020」の開催に向け、準備を進めています。

(4) パーソナルモビリティツアー実証実験について

ラグビーワールドカップ 2019™、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを見据え、観光 MICE 都市としてのさらなる都市ブランド向上等のため、パーソナルモビリティツアーの実施に向けた環境整備を進めています。平成 29 年 10～11 月、30 年 3 月に公道実証実験を行いました。



(30 年 3 月の公道実証実験の様子)

(5) beyond2020 プログラムの認証開始について

国では、東京 2020 オリンピック・パラリンピックを契機とし、成熟社会にふさわしい次世代に誇れるレガシーの創出に向け、日本文化の魅力を発信するとともに障害者や外国人にとってのバリアを取り除く取組を対象にした認証制度として「beyond2020 プログラム」を設け、昨年1月から認証を開始しています。横浜市においても、平成 30 年 3 月 1 日（木）から認証組織となり、認証業務を通じて取組を広く発信することで、共生社会・国際化につながる取組を促進します。



(6) JAPAN MATSURI (ジャパン祭り) について

ラグビーワールドカップ 2019TM決勝戦の横浜開催の機会をとらえ、ラグビー人気が高いとされるイギリスからの誘客を目的に、29 年 9 月にロンドンで毎年開催されている日本の文化や食を広く紹介するイベント「JAPAN MATSURI (ジャパン祭り)」に出展しました。

観光マップの配布など横浜の観光 PR を行なったところ、空港や東京からのアクセス、日本文化が体験できる場所、夜景のスポット等の質問が寄せられ、横浜への高い関心をうかがい知ることができました。(横浜市フランクフルト事務所が実施)

(7) 英国オリンピックチームによる事前キャンプ・英国ホストタウンの取組

英国オリンピック委員会との間で実施に向けた具体的な協議を進めるとともに、本市同様、英国キャンプ地となる慶應義塾大学及び川崎市と連携しながら、ソフト・ハード両面で、英国チームを迎える準備を進めています。